

「日医標準レセプトソフト」

## 入院EFファイル

回復期リハビリテーション病棟入院料の  
疾患別リハビリテーション料包括入力

2017年4月4日

日本医師会 ORCA 管理機構

## 回復期リハビリテーション病棟入院料の疾患別リハビリテーション料包括入力について

- 1 回復期リハビリテーション病棟入院料において、アウトカムの評価を行い、一定の水準に達しない保険医療機関については、疾患別リハビリテーション料の評価が見直されました。

現 行	改 正
【回復期リハビリテーション病棟入院料】 患者1人1日あたり、疾患別リハビリテーションは9単位まで出来高により算定可	【回復期リハビリテーション病棟入院料】 当該病棟におけるリハビリテーションの実績が一定の水準に達しない場合、疾患別リハビリテーション料は6単位まで出来高算定可（6単位を超える疾患別リハビリテーション料は回復期リハビリテーション病棟入院料に包括される）

## [経過措置]

平成28年4月1日以降の入院患者について、平成29年1月1日から実施。

（※実際の包括適用開始は平成29年4月から）

包括分となる疾患別リハビリテーション料を診療行為入力画面より入力することで、入院EFファイルに包括分として記録されます。

## [疾患別リハビリテーション料の包括分入力]

運動器リハビリテーション料を6単位出来高算定し、3単位を包括入力する場合の入力例

入力コード	名称
.800	* その他（リハビリ）
180027810 6*1	* 運動器リハビリテーション料（2） 6単 1020 × 1
.800	* その他（リハビリ）
099999908	包括算定（剤）
180027810 3*1	* 運動器リハビリテーション料（2） 3単 510 × 1

## 注意

疾患別リハビリテーション料の包括入力に「9999 包括分入力」の保険組合せは使用しないでください。「9999 包括分入力」で入力した場合、該当入力が入院料の包括分であることの自動判定できない為、入院EFファイルに記録されません。